

■ 持続可能な社会を担う資質と能力をもつ生徒の育成（高穂中学校）

1 【活動の趣旨】

本校では、課題解決のために計画し、失敗を恐れずやり抜く生徒の育成を目指し、学習の場を地域へ広げ、日頃の学校生活では学べない経験や知識が得られるように地域協働合校事業を推進している。

2 【特徴的な活動内容】

○ 『たかほ学』

1 年生「ふるさと学習」

草津自慢を切り口に、関心のある8分野（歴史文化、自然、環境、食文化、農業、開発、防災、国スポ・障スポ）に分かれセミナーやフィールドワークで課題を発見。解決方法を考え、自分たちにできる行動を地域と協力して行う。

2 年生「生きかた学習」

職場体験学習や生き方に触れる講座（職業講話、マナー講座）から社会とのつながりや個人と社会の幸せについて考えるサミットを開催。

3 年生「社会参加学習」

学級ごとに設定されたSDGsの視点から「平和」をテーマにポスターセッションを実施。

40th FESに参加した地域住民や保護者、下級生へ自分たちの学びを発信。

○ 『高穂中学校40th FES』

創立40周年記念事業として「地域に開かれた学校」をめざして、生徒と保護者、地域の交流の場を設定。本校教育についての理解と相互の持続的な信頼と支援を実現するために開催。



【1年ふるさと学習】



【2年 Working summit】



【3年ポスターセッション】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・3年間の系統性を一覧にして共有し、学校外の異世代と交流する場を意識して設けた。
- ・学校で行われる教育活動での支援活動員を募集し、行事での立番、教科指導補助、環境整備や行事運営補助員として活躍いただいた。



4 【事業の成果】

全校生徒対象の教育課程等に関する生徒アンケートにおいて「地域や社会をよくするために何をすべきか考え、行動することがある」の肯定率が令和4年4月の29%から倍増し、58%となった。

また、新たに地域企業（株式会社がんさん、川重冷熱株式会社）と連携した活動を取り入れ、さらに地域に根差した学びとなった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

「たかほ学」2年目ということもあり、教職員の理解が深まったことで、内容の精選と充実が図られた。